ジョイナス座談会

地域コミュニティ組織、市民公益活動団体、学生団体など、それぞれの立場で活動している皆さんが、協働のまちづくりについて語り合いました！

司会　NPO法人新現役の会ちくごセンターの江上と中村です。早速ですが皆さん、活動の中でお互いにつながりはありますか？

荒木　地域では住民の限られた人が活動しているのが現状です。高齢化もあり、人手が足りない状態です。学生やNPOとは接点がないので、これから、どうしたらよいか検討していく必要があります。

下川　私たちは地域で介護予防教室の栄養指導を行ったことがありますが、その後、地域の皆さんへのフォローができなくて残念な思いをしたことがあります。

古賀　子どもの頃、子ども会の行事に参加していましたが、今は関わりがないので、地域がどんな活動をしているのか、よく分からないですね。

司会　お互いにうまくつながっていない感じですね。なぜなんでしょう？

荒木　SOSが足りないからでは。西国分校区で「餅つきができなくて困っている」と、具体的に情報を流したら、協力してくれる人が見つかりました。どの地域でもみんな人手不足で困っていますが、「困っている」と言うだけでは、言われた人は、いつどこで何をすればいいか分からないのですよ。

荒木さん　原さん　江上さん　中村さん　下川さん　古賀さん

下川　そうですよね。私たちも他の団体に参加を呼びかけてみようと思います。イベントのポスター作成などで連携できると助かりますね。

原　何に困っているのか具体的に情報を発信することが大事なんですね。

司会　何か具体的に発信したい情報がありますか？

古賀　学生は社会の中で活動することで、学び、成長したいと思っています。地域やNPOとつながっていくなら人手としてだけでなく、企画から参加してみたいですね。

荒木　そうですか。残念ながら地域は、まだまだ外の人を受け入れる体制にないのが現実でしょうね。でも夏祭りのステージを任せてみるとか、そういったところから始めるのもいいかもしれませんね。

古賀　それなら、学生バンドを連れてくるとかいろいろと協力できますよ。「土曜夜市」には企画の段階から参加していますが、ボランティアとしても参加者としても学生がたくさん来てくれました。僕たちが企画に関わりたいのは、学生が来やすいようなアイデアを盛り込みたいからなんです。

司会　それぞれに事情や思いがあるんですね。実際に話をしてみないと分からないことが多いですね。今日、皆さんと話をしてみて感じたことを聞かせてください。

下川　皆さんのお話を聞いて、もっと他の団体のことも知りたくなりました。

原　「みんくる」に行くといろいろな団体の話が聞けますが、もっと今日の座談会のような出会いの場が増えることで、他の団体のことも、より知ることができますね。実際に会って具体的な話をしないと、なにも始まらないですからね。

下川　これまで地域には入りにくい感じがしていました。今回、西国分校区の荒木さんとの顔つなぎができたので、地域への入口が見つかった感じです。

古賀　皆さんの活動とその課題がよく分かりました。これからは、もっと学生の力を信じて、一緒に取り組める場をいただけるとありがたいですね。

荒木　そのためにはなにか「きっかけ」が必要ですね。

原　今回みたいに会って話すことで、次は声がかけやすくなって助け合える関係が始まりますね。出会い・知り合うことがネットワークづくりの第一歩なんだなと実感しました。

司会　今日、分かったのは、つながるためには具体的に情報を発信することが大事ということ。そして「出会い・知り合う」ことがつながるための第一歩ということでした。

久留米市でもこんな出会いの場がたくさんできると、ネットワークの輪が広がり、より一層協働のまちづくりが進むでしょう。素晴らしいお話をありがとうございました。

NPO法人栄養ケア・ちっご
理事長　**下川　由子** さん
子どもの食育や高齢者の栄養改善指導に管理栄養士や栄養士が取り組んでいます。

学生団体hitoKURU
代表　**古賀　達也** さん
市内の学生と学生をつないで地域での社会体験の場づくりに取り組んでいます。

NPO法人
新現役の会ちくごセンター
理事長　**江上　憲一** さん
団塊の世代への地域貢献活動の場づくりと活動の支援を行っています。

久留米市
協働推進部地域コミュニティ課
事務主査　**原　早智子** さん
校区コミュニティ組織や自治会へ運営に対するアドバイスや支援を行っています。

西国分校区まちづくり委員会
会長　**荒木　征洋** さん
自分たちが暮らす地域が安全・安心でより住みやすいまちになるよう活動しています。

※各団体の皆さんの肩書は平成25年9月3日現在のものです。

協働のまちづくり

協働のまちづくりとは、市民・地域コミュニティ組織・市民公益活動団体・事業者・市などが、互いの立場や特性を理解し、尊重しながら、それぞれの役割と責任において、単独または連携・協力して、まちづくりに取り組むことです。

地域コミュニティ組織

自治会、各種住民団体、校区コミュニティ組織など地域住民の皆さんが構成する団体のこと。防犯や防災など地域の身近な課題の解決に向けた活動を組織的、継続的に行っています。

市民公益活動団体

市民の皆さんが主体となって、市民生活に役立つ高齢者福祉や子育て支援などの活動を継続的に行う団体のこと。NPO（民間非営利組織）、ボランティア団体、NPO法人など、規模や形態、活動内容もさまざまです。

市民活動サポートセンター みんくる

市民活動に関わる皆さんを応援する市の施設。市民公益活動団体や、地域でボランティア活動をしている方、これからボランティア活動を始めたい方など、市民のだれもが利用できます。

協働のまちづくり手引書

久留米市では、地域コミュニティ組織や市民公益活動団体の皆さんによる協働のまちづくりの活動事例や進め方、協働に取り組むための支援制度などを紹介した『協働のまちづくり手引書』を作成し配布しています。どうぞご活用ください。

発行：協働推進課